

令和元年度大阪ストーリープロジェクト事業 申請事業計画の概要

(単位：千円)

ストーリー名(仮称)	事業名称	趣旨及び目的	申請団体	実施内容・事業額	事業効果及び成果指標
百舌鳥・古市古墳群をめぐるとび	百舌鳥・古市古墳群受入体制整備等事業	堺市、羽曳野市、藤井寺市においては、百舌鳥・古市古墳群が2019年7月に大阪初の世界文化遺産に登録された。 百舌鳥・古市古墳群は、大阪の南部の堺市、羽曳野市、藤井寺市の3市に所在する巨大古墳群であり、堺市の「百舌鳥」と、羽曳野・藤井寺市の「古市」の2つのエリアに分かれながらも、一体性・連続性をもっている。 この古墳群では、4世紀後半から6世紀前半にかけて200基を超える古墳が築造されたが、現在でも89基の古墳が残っている。その中から古墳時代の最盛期である古墳時代中期（4世紀後半～5世紀後半）に築造され、なおかつ保存状態の良い49基が構成資産となっている。 ここに密集した古墳は、前方後円墳、帆立貝形墳、円墳、方墳という4種類の墳形をもち、規模も400m以上から20m程度まで著しく幅広い。これらのうち大規模な古墳は、鍵穴形の前方後円墳であり、古代日本の王の墓と考えられる列島最大級のものを多数含む。このような王墓が集中的、継続的に築造された両エリアは、列島各地の古墳の型式と築造技術のモデルとして重要な位置を占め続けた。 今後、登録を契機に増加する来訪者に、これらの古墳群の価値を理解していただくとともに、効率的・効果的に受け入れていくための、受入体制整備事業や来訪者にそれぞれの街の魅力を感じていただけるような魅力発信事業を実施する。	堺市	<input type="checkbox"/> 誘導サイン(多言語対応)の設置(22,000) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 事業費総額：22,000千円 補助金申請額：7,175千円 </div>	<事業効果> 古墳群めぐりの周遊ルート整備による古墳群来訪者の拡大等 ※既にガイドブックやアプリ等では誘導サインが表示されており、それにあわせて、誘導サインの整備を行う。 <成果指標> ・仁徳天皇陵古墳来訪者数 (集計実施月の平均人数(土日祝) H30 5,280人 ⇒ R2 10,302人)
アートを感じる・見つける ぶらりまちあるき	工場夜景魅力発信事業	堺市及び高石市は関西国際空港や大阪市内からも近く、全国・海外からのアクセスが非常に良い地域に位置するほか、百舌鳥古市古墳群が令和元年7月に世界遺産登録されるなど、注目が高まっている地域である。なかでも堺泉北臨海工業地帯は全国有数の工場夜景地帯であり、近年このエリアを回る工場夜景ツアーが好評を博しているところである。工場夜景は単なるイルミネーションではなく、その背景には日本が世界に誇るものづくりの技術など日本の産業を支え、地域に根差した光であるなど産業観光の側面もあり、日本ならではの現代アートといえる。また光を放つ工場群は幻想的でフォトジェニックであるなどSNS等での拡散力が高いことから、若年層へのPRも期待できる。昼の観光資源とあわせてナイトコンテンツである「工場夜景」の魅力発信することで、観光客の長期滞在を図る。	全国工場夜景サミットin堺・高石実行委員会	<input type="checkbox"/> 工場夜景フォトコンテストの実施 <input type="checkbox"/> 工場夜景パンフレット及びノベルティ制作 <input type="checkbox"/> 工場夜景ツアーの開催 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 事業費総額：4,100千円 補助金申請額：2,050千円 </div>	<事業効果> ナイトコンテンツである工場夜景の魅力発信することで、観光客の誘客及び長期滞在を促す。また工場夜景パンフレット等の提供や撮影モデルコースの紹介など旅行会社等へのフォローアップを行うことで、民間事業者による定期的な工場夜景ツアーの造成を促す。 <成果指標> ・フォトコンテスト応募件数 100件 ・工場夜景ツアー応募者数 120名
	見どころ観光形成及び魅力発信事業	現在、高石の工場夜景の玄関口となっている南海電鉄の高師浜駅は令和元年10月に100周年を迎え、大正時代のままのレトロな駅舎が特徴である。古い駅舎は近年減少しており、今後はその希少性から駅舎自体の観光地化も見込まれる。この駅舎にはスタンドグラスが埋め込まれており、100年を経てもその鮮やかさは一定保たれているが、風雨により一部にひびが見られ、今後放置すると破損する恐れがある。これを新しいものと取り替えることで、新しい観光資源として観光客の増加を目指す。また、これにより本市及び堺市の工場夜景、和泉市のパブリックアート等とともに近隣一体で複合的な芸術鑑賞ができる周遊性を持たせる。	高石市	<input type="checkbox"/> 高師浜駅舎スタンドグラスのレプリカ作成 希少性の高い築100年目を迎える駅舎のスタンドグラスについて、レプリカを作成の上既存物と交換することで破損を防止するとともに、当駅を訪問する観光客増を目指す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 事業費総額：1,000千円 補助金申請額：500千円 </div>	<事業効果> 本市及び和泉市、堺市の複合的な魅力の創出と情報発信により、インバウンドも含めた来訪者の増加につなげる。本事業の実施により、高石における工場夜景ツアーのスタート地点として既に駅前に看板を設置しているが、駅自体の魅力を増すことでさらに工場夜景ツアーにおける観光の満足度を高め、継続的なビーター増にもつなげる。 <成果指標> 高師浜駅の乗降客数
(新規)	のせでんアートライン周遊促進事業	能勢電鉄の沿線地域は、能勢街道など古くから摂津国と日本海方面を結ぶ交通の要所であり、都市部近郊ながら、昔ながらの原風景が広がります。この豊かな原風景を作る里山は、遠い昔から現在に至るまで人の手が入られており、周辺地域一帯が環境省の「重要里地里山」に選定され、隣接する川西市黒川地区では「日本を代表する里山」と称されている。 『のせでんアートライン2019』では、こうした里山が広がるエリアを対象に、アートを通して地域の魅力(歴史、伝統文化、自然、景観、食、人など)を広く伝えること、地域の新たな価値を生み出すこと、地域間でのつながりを生むことを目的として実施するものであり、本芸術祭を契機として、拠点間を周遊するための仕組みづくりを目指してシェアサイクル導入と、各拠点の魅力発信につなげていくための検討を行うこととする。	のせでんアートライン妙見の森実行委員会	<input type="checkbox"/> シェアサイクルの社会実験費およびそのPR費(1300) <input type="checkbox"/> シェアサイクルを実施するイベント運営委託費(1,650) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 事業費総額：2,950千円 補助金申請額：1,475千円 </div>	<事業効果> ・エリアの交流人口の増加 ・市町を超えた新たな交通手段での周遊拡大 ・移動データ分析による事業展開の検討 <成果指標> ・シェアサイクルの利用者数(1か月で100人以上) ・シェアサイクル利用者の満足度、地域住民の満足度
合		計		(事業費ベース) 30,050千円 (補助金ベース) 11,200千円	(府予算額) 42,000千円)